

# 北栄町二地域居住等促進協議会 第2回委員会

日 時：令和8年3月26日(木)10時から11時まで  
場 所：大栄農村環境改善センター2階会議室4、WEB

## 議 事 次 第

### 1 開 会

### 2 議 題

- (1) 令和7年度二地域居住等促進事業の報告
- ・北栄町二地域居住促進コンソーシアム事業
  - ・ANA二地域居住等促進コンソーシアム事業
  - ・パソナ JOBHUB 伴走支援事業
  - ・特定居住促進計画の進捗状況

#### (2) 意見交換

#### (3) その他

### 3 閉 会

北栄町二地域居住等促進協議会 名簿

氏名(敬称略)	所属・役職	備考
岡本 圭司	北栄町副町長	町
種子 忠雄	由良宿自治会長会 由良宿2区自治会長	自治会
小椋 秀一	北栄町商工会事務長	商工会
吉川 加珠弥	(一社)北栄町観光協会事務局長	観光協会
平信 英明	鳥取中央農業協同組合大栄支所長	農業協同組合
若狭 春奈	民泊 MOKUBA	民泊事業者
斉尾 俊和	編集・ライター (有)斉尾建設	地域住民
小谷 章	鳥取県中部総合事務所県民福祉局長	県
長曾我部 まどか	鳥取大学工学部准教授 ほくらボ	有識者
大西 浩嗣	北栄町地域活性化起業人 (一社)EI	有識者
伊藤 俊徳	(一社)WorkDesignLab	複業アドバイザー
西尾 知宏	(株)LASSIC 取締役	オブザーバー
加藤 遼	(株)パソナ JOBHUB ソーシャルイノベーション 部長	オブザーバー
永田 裕一	観光交流課長	町事務局
清水 直樹	産業振興課長	町関連課
中野 智子	企画財政課長	町関連課
渡辺 健二	生涯学習課長	町関連課

## 【事業実施概要】（北栄町二地域居住促進コンソーシアム）

構成団体（鳥取県北栄町、北栄町商工会ほか）

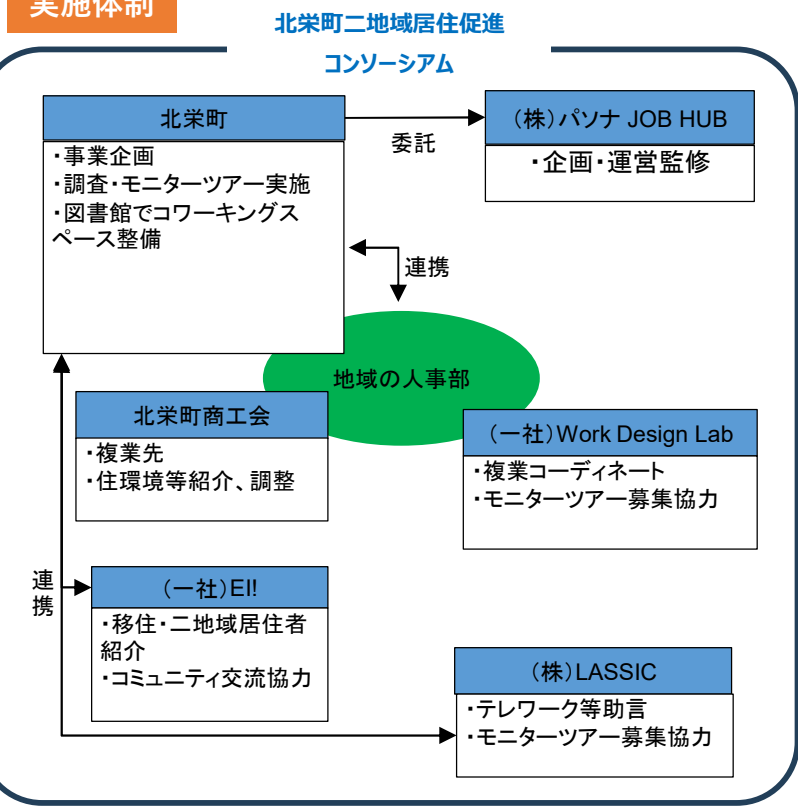
事業名：押し活から二地域居住への関係深化の可能性調査

# 【推し活層の二地域居住推進】北栄町二地域居住促進コンソーシアム

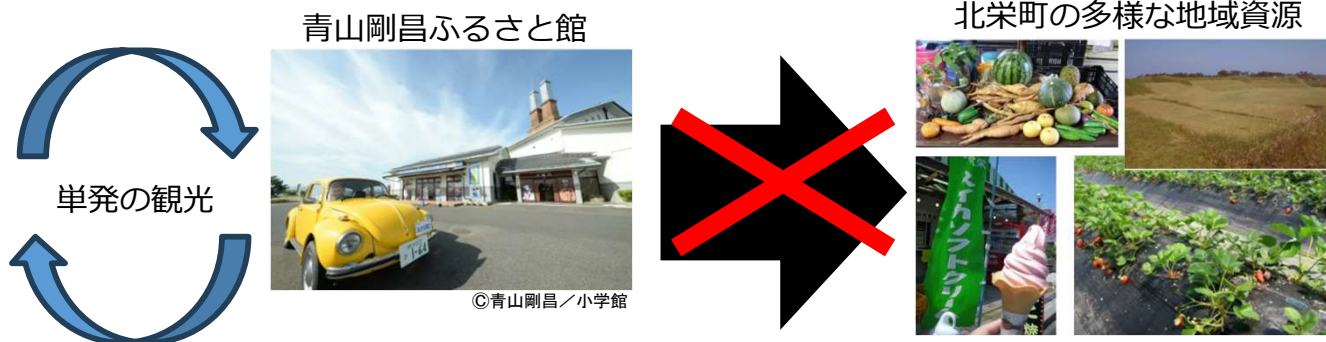
## 事業の概要

- 【課題】 地域に訪れる若者・女性の二地域居住化を妨げる「定着の壁」（住環境、仕事、つながり）問題の解決
- 【取組】 移住・二地域居住者、青山剛昌ふるさと館来訪者を対象としたヒアリング・アンケート調査実施  
 地元企業での職場体験、テレワーク体験、地元コミュニティとの交流を含むモニターツアーの開催  
 北栄町図書館へのコワーキングスペース整備
- 【関連事業】 公民館大栄分館整備とコミュニティマネージャの設置検討、地域の人事部の体制構築
- 【コンソーシアム構成】 鳥取県北栄町・北栄町商工会・一般社団法人EI・株式会社パソナ JOB HUB  
 ・一般社団法人Work Design Lab・株式会社LASSIC・鳥取大学（有識者）

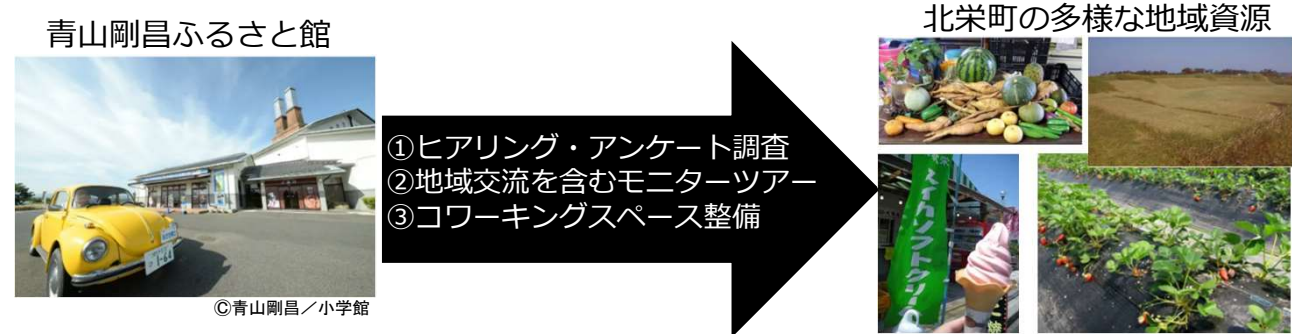
## 実施体制



現状 観光客を地域へのコミットする関係人口に昇華できていなかった



目指す姿 コナンファンを北栄町ファンへ。定着の壁を乗り越える



# ①ヒアリング調査・アンケート調査

## 【1】ヒアリング調査（北栄町移住者）

項目	内容			
	大分類	中項目	主なヒアリング内容(Aさん)	主なヒアリング内容(Bさん)
具体的なヒアリング内容	②二地域居住・移住の動機	移住決定のきっかけ	旅行で訪れた北栄町で短期バイトに応募。働く中で熱意やコナン好きが伝わり、2週間目で正規雇用の声掛けをいただいた	R7年5月の訪問の際に小学生の姿を見て北栄町への転職を決意 同年7月に現オーナーに出会い仕事を決定
	③二地域居住・移住後の生活の実態	地域での生活	仕事でもコナン・ファンと関わることが幸せ	毎日名探偵コナンを感じられて幸せ
		住居・生活環境	・車を保有しており、現在も利用中 ・町内外の等を利用している	・車は保有していない ・悩み：虫が多い/町内費は高い
	④二地域居住・移住者が抱える課題	生活面の困難	単身向けアパート探しに難航した	単身向けアパート探しに難航した
		コナン関連の課題	移住者として役立つことがしたい	特段なし

### 分析考察

1. なりわいのマッチング、創出が移住の決定打になっている
2. 参加人口から活動人口へ繋がっている
3. 生活インフラにおける課題も明確化している

### 二地域居住・移住者を今後増やすための施策

- ・ なりわいのマッチングを整備し、いつでもだれでもアクセス可能な状態にする
- ・ 単身女性向け住居及び関連情報の整備

# ①ヒアリング調査・アンケート調査

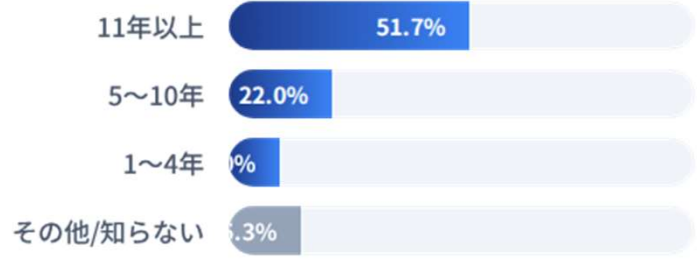
## 【2】アンケート調査（青山剛昌ふるさと館来館者）

### ■前提条件①：基本情報

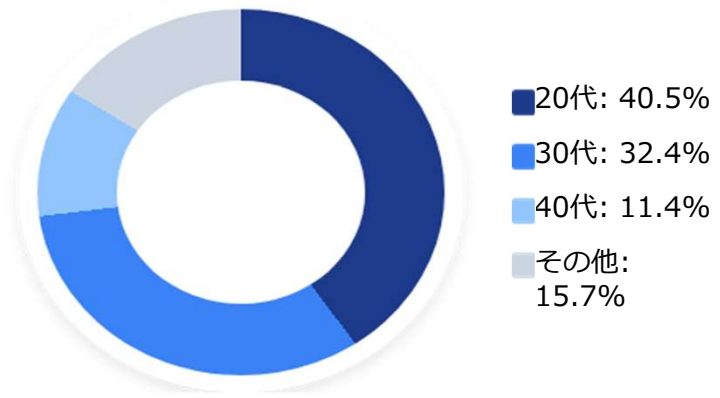
- 年間総来館者数：200,000人（男女計）
- 調査対象：青山剛昌ふるさと館に来館した女性
- サンプル数：300人（紙回答方式）
- 実施期間：令和7年10月

### ■コナンファン歴：10年超の長期ファン層が多い

コンテンツ認知期間（ファン歴）



### ■回答者属性：20-30代の現役女性層が約7割である



### ■その他属性のサマリー

- **職業**：会社員が57.7%と過半数。経済的自立度の高い現役世代。学生(11.3%)や主婦層(12.0%)も一定数存在。
- **居住地**：大阪、兵庫、東京の3都府県で全体の約34%を占める。京阪神・首都圏からの広域的な流入が顕著。

# ①ヒアリング調査・アンケート調査

## ■ふるさと館でのアンケート内容

### 北栄町二地域居住等に向けた実態調査アンケート(おもて)

北栄町では、地域に繰り返し滞在しながら、都市と地方の両方の暮らしを楽しむ「二地域居住」を進めています。

※二地域居住とは：普段は都市に住みながらもひとつの地域でも生活や活動を行うライフスタイルです。このアンケートは、北栄町を訪れるみなさんの声をもとに、より良い環境づくりに役立てるものです。

回答時間は3分程度です。ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

【情報の取り扱いについて】

本アンケートでいただいた内容は、統計的に集計・分析し、北栄町の取り組みに活かします。個人が特定される形で公表されることは一切ありません。回答は施策や研究目的以外には利用せず、安全に管理します。

- ① 年代を教えてください。  
 10代  20代  30代  40代  50代  60代以上
- ② 性別を教えてください。  
 男性  女性  その他  回答しない
- ③ お住まいの都道府県を教えてください。( )
- ④ ご職業について教えてください。  
 会社員  公務員  自営業・フリーランス  学生  主婦・主夫  
 無職・求職中  その他( )
- ⑤ これまでの北栄町への訪問回数について教えてください。  
 初めて  2回目  3~5回  6~10回  11回以上
- ⑥ 北栄町を訪れた目的について教えてください。  
 コナン観光(青山剛昌ふるさと館、コナン通り、米花商店街など)  
 コナン観光以外(道の駅での買い物・食事、町内のカフェなど)  
 仕事(業務・出張など)  その他( )
- ⑦ 北栄町を訪れて、全体としてどのくらい満足しましたか。  
 満足している  やや満足している  どちらともいえない  あまり満足していない  満足していない
- ⑧ 名探偵コナンのファン歴について教えてください。  
 1年未満  1~4年  5~10年  11年以上  ほとんど知らない
- ⑨ あなたの「名探偵コナン」に関する活動(推し活)について教えてください。(複数回答可)  
 特に活動はしていない  
 アニメや映画を観る、漫画を読む  
 コナングッズを購入する  
 コナン関連のイベントやキャンペーンに参加したことがある  
 青山剛昌ふるさと館やコナン通りを複数回訪れたことがある  
 コナンについて SNS 投稿やファン同士の交流をしている  
 その他( )

本アンケートは国土交通省令和7年度二地域居住先導的プロジェクト実装事業の一環として実施しています。

### 北栄町二地域居住等に向けた実態調査アンケート(うら)

- ⑩ 今後、北栄町との関わり方として、最も近いものを1つ選んでください。  
 特に考えていない  
 また観光で訪れてみたい(日帰り・宿泊を含む)  
 特産品の購入やふるさと納税などで応援してみたい  
 コナン関連イベントやファン交流を通じて関わってみたい  
 ボランティア活動や仕事・ビジネスを通じて関わってみたい  
 二地域居住をしてみたい  
 将来的に移住してみたい
- ⑪ 上記の質問について、あなたが今後北栄町との関わりをより深めるとしたら、どのような支援があらうと思いますか。(複数回答可)  
 交通費の補助(割引・クーポンなど)  
 宿泊費の補助や長期滞在割引  
 モニターツアーや体験型のお試しイベント  
 ファン交流イベントや住民とのコミュニティ活動の場  
 地域の仕事や副業の紹介(短期のお手伝い・長期の就労支援を含む)  
 コワーキングスペース(Wi-Fi・電源・個室など)の整備  
 住まいの確保支援(民泊・サブスク住居・空き家・単身アパート紹介など)  
 生活サポート情報(買い物・医療・子育てなど)  
 その他( )

北栄町での二地域居住についておたずねします。

- ⑫ 北栄町での二地域居住に、現時点でどのくらい関心がありますか。  
 関心がある  やや関心がある  どちらともいえない  あまり関心がない  関心がない

「関心がある」もしくは「やや関心がある」を回答した人におたずねします。

- ⑬ 二地域居住に関心がある理由を教えてください。  
 名探偵コナンが好きで、コナンのまちに関わりたい  
 コナン施設やイベントに繰り返し訪れたい、ファン同士で交流したい  
 地域の雰囲気や自然が好きで、静かな環境で過ごしたい  
 新しいことに挑戦したい、自分のスキルを活かしたい  
 地域の新しい人と交流したい、地域に貢献したい  
 現在の働き方や暮らし方を変えたい  その他( )

以上でアンケートは終わりです。ご協力誠にありがとうございました。

本アンケートの お問い合わせ先	北栄町役場 観光交流課 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿 423-1 TEL: 0858-37-3158 E-mail: kouryu@e-hokuei.net
--------------------	--

本アンケートは国土交通省令和7年度二地域居住先導的プロジェクト実装事業の一環として実施しています。

# ①ヒアリング調査・アンケート調査

## 【2】アンケート調査（青山剛昌ふるさと館来館者）

### ■前提条件②：調査における2つのバイアスの補正

- ①**仮想評価バイアス（Hypothetical Bias）** 意向値に対して 0.33 を乗算（※1）
- ②**自己選択バイアス（Self-Selection Bias）** 非回答層も含めた全体期待値を 0.50 として割り引く（※2）

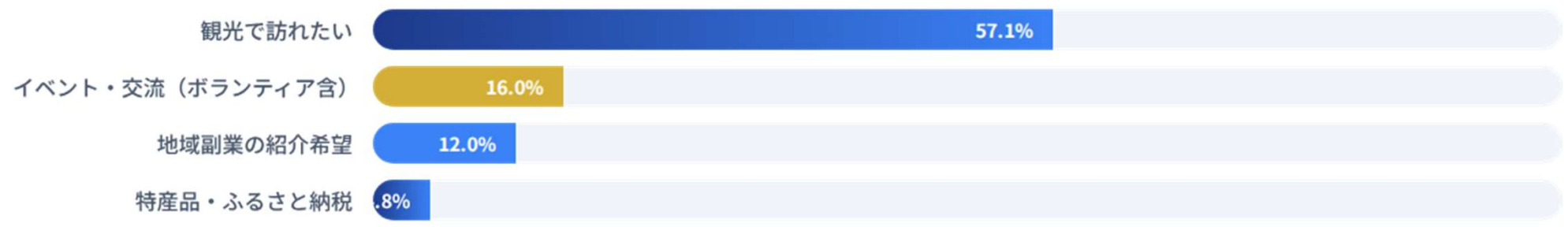
＜方程式＞ 推定市場規模 = 分母（全体数）×アンケート出現率×補正係数0.165（0.33×0.5）

### ■前提条件③：イノベーター理論

**イノベーター理論（ロジャース）** イノベーター+アーリーアダプター層の計16%で算出（※3）

推定人数においては年間20万人来館のうち、16%の32,000人と仮定して算出する

#### 今後行いたい地域との関わり（複数回答）



観光目的が主軸であるものの、**約16%が交流、12%が副業紹介**を具体的に希望している。来館者全体（20万人）をベースとした、年間実行期待値としては、**地域交流希望者数が約845人、複業希望者数が約634人**である。

項目	ターゲット分母 (16%)	アンケート意向率	計算式 (分母 × 意向率 × 0.165)	推定人数
地域交流希望	32,000人	16%	$32,000 \times 0.16 \times 0.165$	約 845人
複業（副業）希望	32,000人	12%	$32,000 \times 0.12 \times 0.165$	約 634人

# ①ヒアリング調査・アンケート調査

## 【2】アンケート調査（青山剛昌ふるさと館来館者）

### 移住及び二地域居住等の関心の傾向

年代区分	関心あり(計)	中立	関心なし(計)
10代	0.0%	30.0%	70.0%
20代	<b>18.2%</b>	31.4%	50.4%
30代	<b>15.5%</b>	33.0%	51.5%
40代	11.8%	35.3%	52.9%
50代	14.3%	39.3%	46.4%

20代・30代において、移住/二地域居住への関心層が最も高い（15～18%）。また、この層は「どちらともいえない」という中立層も3割以上存在しており、宿泊費・交通費の補助やリモートワーク環境の整備といった「きっかけ」次第で関心層へ転換する可能性が高い。

また来館者数で推定すると合計844人が二地域居住を希望していると算出をできる。

年代	セグメント人数 (3.2万 × 比率)	関心あり層	計算式 (人数 × 意向率 × 0.165)	推定人数
20代	12,960人	18.2%	$12,960 \times 0.182 \times 0.165$	<b>389人</b>
30代	10,368人	15.5%	$10,368 \times 0.155 \times 0.165$	<b>265人</b>
40代	3,648人	11.8%	$3,648 \times 0.118 \times 0.165$	<b>71人</b>
その他	5,024人	14.3%	$5,024 \times 0.143 \times 0.165$	<b>119人</b>
合計	<b>32,000人</b>	-	-	<b>844人</b>

# ①ヒアリング調査・アンケート調査

## 【2】アンケート調査（青山剛昌ふるさと館来館者）

### ＜調査結果＞

- ・年間来館者20万人に対し、地域交流や二地域居住の具体的な期待値は年間約**850人**、複業希望は約**630人**となった。

これは「20万人」という数字から見ればわずか0.4%程度であるが、地方自治体が受け入れ、伴走するための「深い関係人口」としては、適正かつ持続可能な規模であると評価できる。

- ・北栄町のファンであり、かつ行動意欲の高い850人を捕捉・維持できれば、北栄町の人口1.4万人の約6%に匹敵する「アクティブな関係人口」を毎年積み上げることができる。

- ・20代・30代が実行期待層の約77.5%（654人）を占めている。男女全体の来館者層に対しても、若手層に特化した「仕事（複業やおてつたび）」と「暮らし（滞在）」のパッケージ提案が、最も効率的な関係人口・二地域居住者の創出施策として重要である。特に20代・30代女性のライフイベント（結婚、出産、キャリアチェンジ）に合わせ、リモートワークや二地域居住が「北栄町なら可能である」という具体的なライフスタイルの選択肢を提示することが有効ではないか。

# ②モニターツアーの実施

日程	内容	宿泊
<p>11/21(金) ファンとしてコナン欲を満たす</p>	<p>10:30 鳥取空港集合            11:45 北栄町役場着、チェックイン            13:00 昼食            14:30 北栄町にある名探偵コナン観光施設の見学            (青山剛昌ふるさと館の見学/コナンの家米花商店街の見学)            17:00 北栄町役場、1日目の振り返り            17:45 萬屋チェックイン            18:00 夕食            19:30 オフ会(喜友名様交流※19:30頃合流予定)</p>	
<p>11/22(土) なりわい・滞在に向けた暮らし体験(拡張)</p>	<p>9:15 出発            9:30 村岡オーガニック様見学            10:45 北条ワイン醸造所様見学            12:00 昼食            13:15 北栄町での暮らし体験(コナンクリエーション、名探偵コナン観光施設の方との意見交換、町内コミュニティ施設の見学、町内生活関連施設の見学)            18:00 夕食</p>	<p>萬屋</p>
<p>11/23(日) 振り返り・ネクストアクション</p>	<p>9:15 出発            9:30 北栄町での暮らし体験(道の駅、おてつたび拠点見学)            11:00 フィードバック・アンケート回答:北栄町役場            12:00 昼食・自由時間            14:00 レンタカーにて移動            14:45 鳥取空港解散ANA298便(鳥取空港15:35発~羽田空港16:50着)            16:50 羽田空港着・解散</p>	



ふるさと館見学



お試し住宅見学



北条ワイン見学



村岡オーガニック意見交換



振り返り&フィードバック

## ②モニターツアーの実施

11月に2泊3日で推し活者6人でモニターツアー（二地域居住を実体験）を実施

### ■推し活モニター調査ツアー参加後アンケート

<二地域居住への関心の劇的な変化>

参加前

50%

「非常に関心がある・ややある」の合計

参加後

100%

全員が「関心あり」へ意識変容

ツアー体験を通じて「二地域居住」が現実的な選択肢へ昇華している。

### <二地域居住に向けた障壁>

障壁として挙げられた項目の重み付け合計：



上位回答では「仕事との両立」が一番高い。

合わせて二地域居住を支える「住まい」と、継続を可能にする「移動コスト」の解決が求められている。

## ②モニターツアーの実施

### ■推し活モニター調査ツアー参加後アンケート

#### <今後求められる支援策>

支援カテゴリー	回答数
宿泊費補助・長期滞在割引	4
住まいの確保支援	3
地域とのコミュニティの場	3
交通費の補助・クーポン	2
コワーキングスペース整備	1

#### <参加者の声>

##### ■ポジティブフィードバック

- ・「個人旅行では絶対にできない体験が山盛りで、非常に充実していた。コナン関連施設を全て見尽くせて大満足！」
- ・「想像以上に地場産業に活気があり、振興に熱意のある方々に会えたのが大きな収穫だった。」
- ・「補助があったので気軽に参加できたが、中身の濃さに驚いた。いつか行きたい場所が特別な場所になった。」

##### ■改善点

- ・車移動が多かったが、実際に住むなら公共交通がどれほど使えるか体験したかった。二次交通のコストがネックである
- ・もっと地元の食材（蟹、日本酒など）やリアルな生活食を知れる機会があると更に嬉しかった。」
- ・短期滞在モニターとしての満足度は高いが、「生活者」としての視点では更なる詳細情報のニーズがある。

## ②モニターツアーの実施

### ■調査における分析

#### ①「仕事」が最大のボトルネックであり、同時に定着の決定要因である

移住に成功している（Aさん・Bさん）は、いずれも「コナンに関わる仕事」を現地で見つけることができた点が、移住を最終的に決断する要因となっている。一方で、推し活層(モニターツアー参加者)および観光客層においては、「仕事との両立」を最大の不安要素として挙げているケース、もしくは仕事に関するニーズ自体を十分にヒアリングできていない状況が見られる。

##### 考察

推し活層・観光客層にとって重要なのは、「北栄町に住むために仕事を辞める」ことではなく、「現在の仕事を続けながら、地域でも関わられる仕事（複業・BPO等）がある」もしくは「現地で自分がやりたい仕事が見えている」状態をいかにつくれるかではないか。

#### ②住まいの整備および情報提供を行う必要性がある

移住者層の2人が共通して「単身向けアパート探しに苦労した」という事実は重要な示唆である。また、推し活層のモニター参加者においても、「住まいの確保」は不安要素の第2位に挙げられており、住まいの確保および情報の可視化は、移住促進における重要な論点である。

##### 考察

主なターゲットである20～30代女性が求めているのは、「手軽に入居できるアパートやシェアハウス、お試し住宅」であると考えられる。空き家バンクの物件を単身・女性向けにリノベーション、またはリブランディングすることも有効な選択肢となり得る。

#### ③コミュニティを通じた心理的安全性をどのように設計・担保するか

モニターツアーにおいて最も評価が高かったのは、観光施設の視察以上に、「移住者(Bさん)との交流」であった。

##### 考察

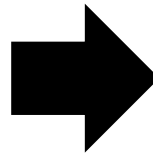
移住者層自身が「移住して良かった」と自らの言葉で発信することが、最も効果的なプロモーションになると考えられる。Bさん等を推し活層・一般層との橋渡し役となるエバンジェリストとして位置付け、認定や連携の仕組みを整えることで、継続的な関係構築につながるのではないか。

### ③北栄町図書館コワーキングスペースの整備

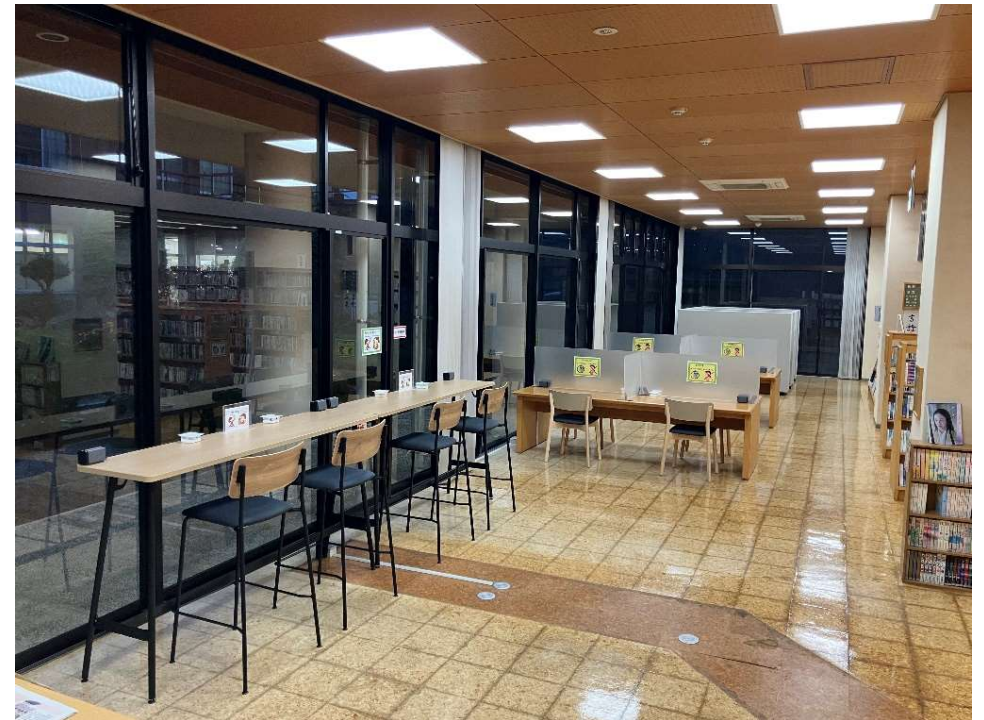
#### 実施内容

由良地区内にはコワーキングスペースが少なく、列車間隔が1時間以上ある由良駅周辺でコワーキングやテレワークを気軽に行える状態となっていなかった。交流拠点施設となる中央公民館大栄分館（現在再整備中）と一体化する北栄町図書館にコワーキングスペースを設置したことで、テレワークによるなりわいづくりや、地域でのイベント開催の企画などの場とし、地域コミュニティ参加の可能性を高める場となることを期待する。また駅前での図書館で空き時間の有効活用や地域との接点増となることを期待する。

整備前



整備後



## 誘致型施策

- ・二地域居住者：**36人**
- ・年間合計滞在日数：**485人**
- 現在常に**1.3~1.5人**程度いるイメージ

内訳) 地域活性化起業人、複業人材  
おてつたび、Ei!HOKUEI、官民連携PJ等

質の高い二地域居住者や関係人口を計画的に増やすことができる

## 自然流入型施策

- 二地域居住の  
ポテンシャル数：**844人**
- コナン等で北栄町に関心を持ち、観光や交流拠点を訪れている人々への関心度合いと裾野拡大の可能性を感じられた

すでに町に好意的な人が対象のため、関係深化に繋がりやすい

北栄町の取組は、町側から仕掛ける誘致型施策（PUSH）によって着実な成果を上げてきたが、今後は、既存施策による二地域居住者・関係人口の増加に加え、青山剛昌ふるさと館をはじめとする観光・交流拠点への自然流入層も視野に入れた自然流入型施策（PULL型）の体制と仕組みを構築していくことで、裾野を広げた関係人口の創出が期待できる。

アンケート回答（仮想値）を現実の行動予測（実効値）に変換するため、統計学に基づいた「2段階下方修正」を採用。以下の2つのバイアスを補正し現実的なポテンシャル数を算出。

## ※ 1 仮想評価バイアス (Hypothetical Bias)

- ・理論: アンケート回答者が「仮想的な状況」で示す意向は、実際の行動の約3倍に膨らむ傾向がある。
- ・補正: 意向値に対して 0.33 を乗算。

「やりたい」という意向（仮想値）と、実際に費用や時間をかけて「動く」行動（実効値）の乖離を埋めるため、環境経済学等のCVMで用いられる係数0.33を乗じる。

根拠研究 : List, J. A., & Gallet, C. A. (2001). "What explains the gap between affirmative willingness-to-pay and actual payments?"

## ※ 2 自己選択バイアス (Self-Selection Bias)

- ・理論: 調査データがランダムではなく、非ランダムな（偏った）サンプルから収集された場合に生じる推定の歪みを取り除き、正しい因果関係を導き出すために使われる。
- ・補正: 非回答層も含めた全体期待値を 0.50 として割り引く。
- ・アンケート回答者（300人）は、無回答層に比べて「町への関心が非常に高い層」に偏っている。この熱量の乖離を補正するため、無回答層を含めた全体傾向を係数0.5（回答者の半分程度の熱量と想定）として下方修正。

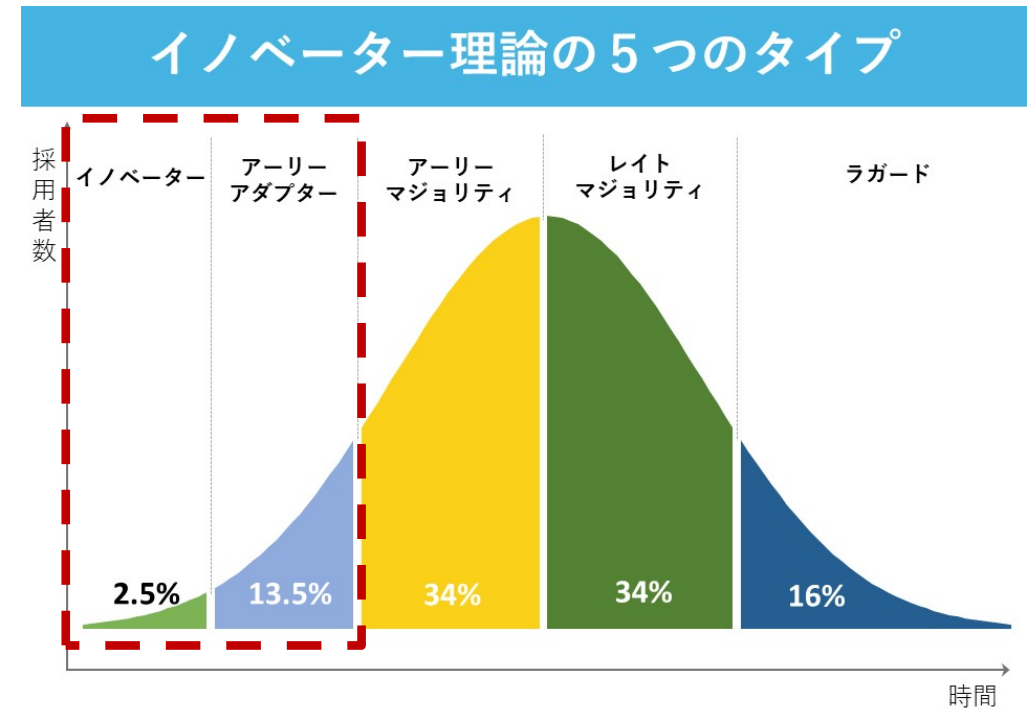
根拠研究 : James J. Heckman (1979). "Sample Selection Bias as a Specification Error"

アンケート回答（仮想値）から現実的な推定値に算出するため、イノベーター理論を用いて、確からしい数値を算出する。

## ※3 イノベーター理論（ロジャース）

- ・理論:新製品やサービスが市場へ普及する過程を説明するフレームワーク。消費者を購買の早さに応じて5つのタイプに分類し、イノベーター+アーリーアダプターへ普及させることが、マス向け市場（マジョリティ）への拡大において重要であると説いている。
- ・補正:イノベーター+アーリーアダプター層の計16%で算出する

根拠研究：Rogers. (1976). " Diffusion of Innovations"

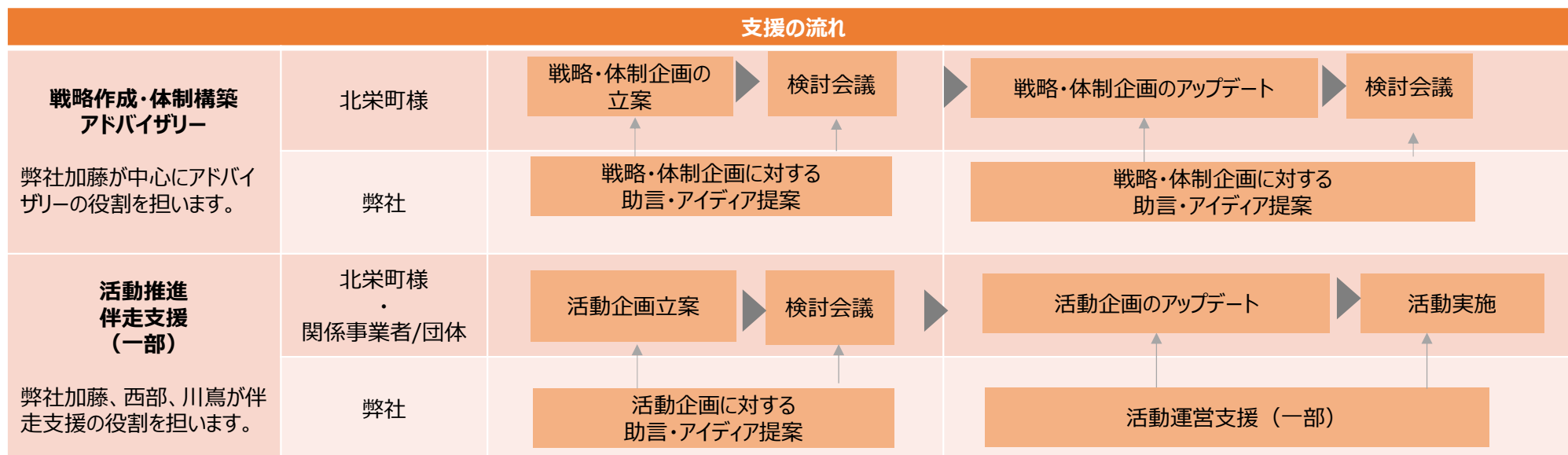


本調査で算出する数 = 直近でアクション可能なアクティブ層

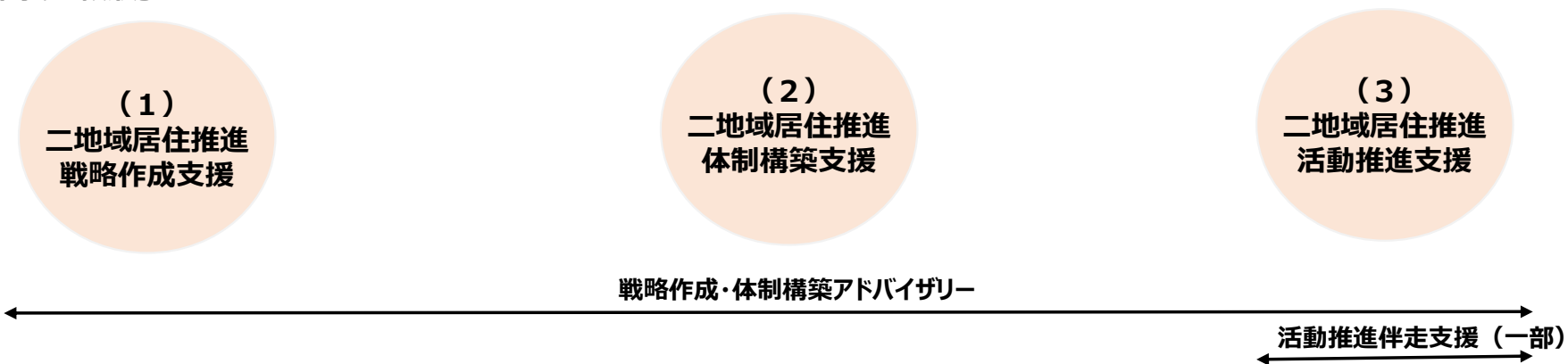
**令和7年度  
二地域居住推進事業の体制構築業務  
実施報告**

# 業務の全体像

本業務においては、パソナJOB HUBの経験やノウハウ、ネットワークを活用して、北栄町様が検討される様々な戦略や施策に関する助言やアイデア出しなどのアドバイザーをさせていただきます。またアドバイザーに留まらず、北栄町様と一体となって戦略の実現に向けた施策についても一部業務を伴走支援致します。



## ■ 業務内容毎の支援形態



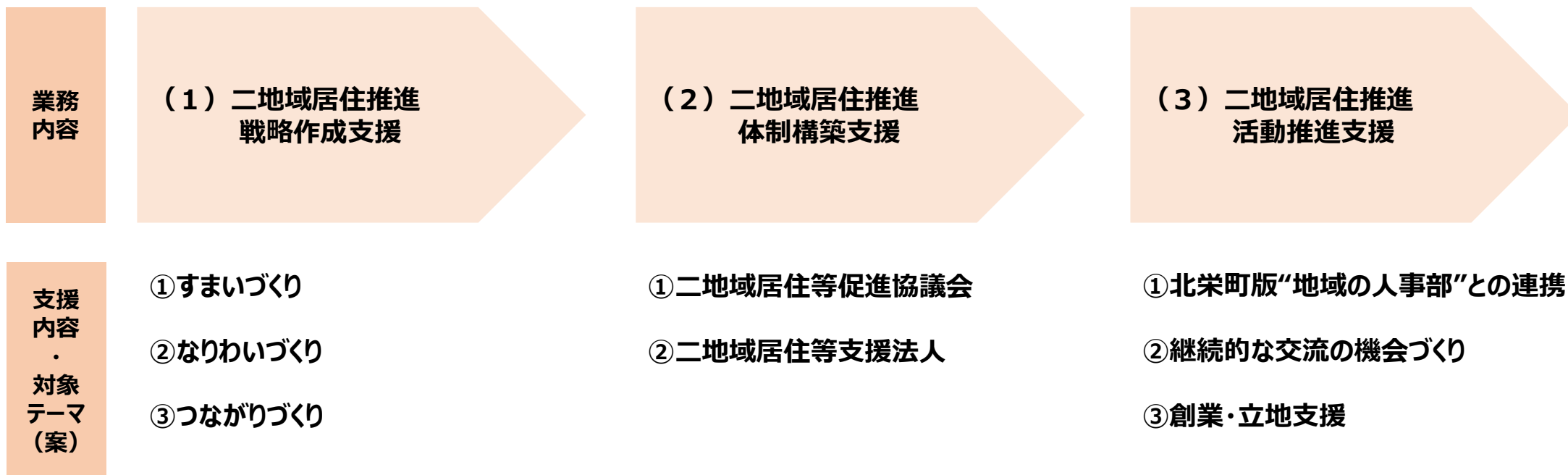
# 令和7年度の実施スケジュール（国土交通省二地域居住先導的プロジェクトとのすみ分け）

スケジュール及び実施内容に関しては北栄町様と協議の上、適宜実施。

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
二地域居住推進事業の体制構築業務	(1) 二地域居住推進戦略作成支援	戦略作成支援に関する助言（随時）										
	(2) 二地域居住推進体制構築支援	個別関係者との打合せ及び助言（随時）										
	(3) 二地域居住推進活動推進支援	事業者の活動支援及び助言（随時）										
国土交通省二地域居住先導的プロジェクト実装事業	共通	企画・運営監修（随時）										
	事例調査・アンケート	調査・分析協力（随時）										
	モニターツアー		●									
	図書館コワーキング整備		●	●		●						
			●	●		●	●	●	●	●		

## 業務の目的・全体像

北栄町様では二地域居住を推進していく上で基本となる特定居住促進計画に沿った活動を円滑に推進していくために、必要な戦略の作成や体制の構築に取り組みながら、一部、先進的な活動の推進を伴走支援を実施いたしました。



**二地域居住者と住民が “つながり” “まなび” “実践する” まちづくりの実現  
に向けた伴走支援・体制構築の強化**

# (1) 二地域居住推進戦略作成支援

## ■ 概要

本業務では、6月頃に策定および公表予定の北栄町様の特定居住促進計画における、二地域居住戦略作成支援を目的に、助言・アイデア提案を8回実施しました。

項目	概要
概要	北栄町特定居住促進計画（案）を踏まえた戦略作成における助言を行うことで、北栄町での二地域居住の推進に向け、「すまい」（滞在環境）、「なりわい」（就業機会、地域参加）、「つながり」（二地域居住者と地域、二地域居住者相互の交流の場）の充実を図ります。
助言方法	対面又はオンライン
実施時期	令和7年度5月末～令和8年度3月頃
助言回数	毎月1回
助言支援対象	北栄町様、その他「すまいづくり」・「なりわいづくり」・「つながりづくり」の関連事業者・団体等

## ■ 北栄町様における二地域居住者の受け入れに向けた取り組み方針（北栄町特定居住促進計画（案）より抜粋）

### すまいづくり

- ・由良駅前への宿泊施設誘致
- ・民泊施設の創業・立地支援
- ・飲食店等の創業・立地支援  
（二地域居住者利便性向上施設）
- ・鳥取中央育英高校学生寮整備

### なりわいづくり

- ・北栄町版“地域の人事部”  
（地域複業マッチング等）
- ・事業所等の立地・創業支援  
（二地域居住者創業等支援施設）
- ・ワーキングスペースの整備

### つながりづくり

- ・交流施設の整備（青山剛昌ふるさと館、中央公民館大栄分館等）
- ・相談窓口の設置
- ・継続的な交流の機会づくり（イベント、デジタル活用）
- ・コミュニティマネージャーの設置
- ・若者が活躍する地域づくり（鳥取中央育英高校魅力化、若者活躍を支援する地域活動への支援）

# (1) 二地域居住推進戦略作成支援



## ■北栄町特定居住促進計画（案）による目標と本業務での助言事項（案）

本業務において、北栄町特定居住促進計画（案）を踏まえ、目標達成に向けた本業務での助言内容の案を記載しております。  
今年度は事業内容の実現に向けて「二地域居住推進戦略作成支援」を実施しました。

区分	事業内容	目標（R11年度末時点）	R7年度での助言内容（案）
1. すまいづくり	・由良駅前への宿泊施設	宿泊施設 1件	宿泊施設事業者の誘致に向けた戦略・アイデア
	・民泊施設の創業・立地支援	民泊施設 3件	民泊事業者の創業支援・企業誘致に関する戦略・アイデア
	・飲食店等の創業・立地支援	飲食店等 3件	飲食店事業者の創業支援・企業誘致に関する戦略・アイデア
	・鳥取中央育英高校学生寮整備	寮整備 1件 利用する高校生の数 3人/年	寮の運営に関する戦略・アイデア
2. なりわいづくり	・北栄町版“地域の人事部”	町内事業所での複業マッチング（高度人材） 3件/年 おてつたび等での新規来訪者数 10人/年	地域の人事部の戦略策定、体制構築、活動推進
	・事業所等の創業・立地支援	店舗整備支援 1件 地域内での起業者数 5件	創業支援・企業誘致に関する戦略
	・コワーキングスペースの整備	施設整備 1件 地域外からの利用者数 のべ150人/年	コワーキングスペースのコンセプトや活用イメージ
3. つながりづくり	・青山剛昌ふるさと館整備	施設整備 1件 来館数 27万人/年	来場者の関係人口化に向けた施策
	・中央公民館大栄分館整備	施設整備 1件 二地域居住者によるイベント開催 3件/年	公民館のコンセプトや活用イメージ
	・相談窓口の設置	特定居住支援法人の指定数 5件	相談窓口の機能と各支援法人との連携
	・継続的な交流の機会づくり	交流イベントの開催数 12件/年 交流登録者数 100人	交流機会の企画・運営
	・コミュニティマネージャーの設置	1施設1人	コミュニティマネージャー候補となる人材の発掘・育成
	・若者が活躍する地域づくり	鳥取中央育英高校の入学者数 80人以上/年 地域イベント等に参加する10代の若者数1,500人/年	高校の魅力化戦略

# (1) 二地域居住推進戦略作成支援

本業務では、北栄町様が策定した「特定居住促進計画（案）」を基に、各事業内容毎に戦略・アイデアに関する助言を行うとともに、北栄町様との定例打合せを通じて、計画を実現するための戦略や施策をアップデートし、戦略と連動した体制構築や活動推進に繋げてまいりました。

プロセス	第1回 (5月) キックオフ	第2回 (6月) 実施施策案の検討 (優先度の整理)	第3回 (7月) 既存の取り組みとコ ミュニティについて	第4回 (9月) 起業創業支援におけ る整理・検討	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定に向けた現状進捗共有</li> <li>今年度の戦略作成・体制構築・活動推進目標の共有</li> </ul>	二地域居住推進における町内での優先度の整理、各施策（地域の人事部、国交省二地域居住モデル事業、その他の連動について）	二地域居住者の継続的な交流機会づくりの検討に向け、Ei!HOKUEIとの既存の取り組みやコミュニティについて協議	北栄町の企業・創業支援における現状整理、想定される起業創業イメージ、支援体制案について協議	<p>定例打ち合わせの実施の様子</p>
	第5回 (10月) 起業創業支援セミナーの企画検討	第6回 (11月) 起業創業支援における今後方針検討	第8回 (1月) 二地域居住から活動人口化に向けた今後の検討	第9回 (2月) 次年度以降にむけて	
	起業・創業支援セミナーの企画・運営に向けた協議・検討	起業・創業支援の今後の検討に向けた検討	推し活二地域居住に向け、活動人口の創出（複業・起業等）に向けた取り組みを検討	戦略作成・体制構築・活動推進の現状共有・次年度以降の取り組みの方向性の整理	

滞在施設における視察の様子

## (2) 二地域居住推進体制構築支援

本業務における二地域居住推進体制構築支援は、二地域居住推進戦略に基づき、個別関係者と打ち合わせによる助言支援や段階的かつ持続可能な地域連携体制の構築を目的とし、多様な関係主体の参画を促しながら議論の場を設けることで、北栄町での持続可能な二地域居住推進の体制構築を実施しました。

### ■ 二地域居住等促進協議会協議会と二地域居住等支援法人の役割と参画機関の整理

区分	役割	参画機関
二地域居住等促進協議会	二地域居住促進にむけ関係者の意見を聴取し、合意形成を図るための組織	(1) 商工会 (2) 鳥取中央農業協同組合 (3) 観光協会 (4) 地域住民 (5) 学識経験者 (6) 鳥取県 (7) 北栄町 (8) その他町が必要と認める者
二地域居住等支援法人	二地域居住促進を通じた地域活性化に取り組む市町村の補完的な役割 (希望者への情報提供・相談支援、利便性・就業に係る施設整備、調査研究、普及啓発等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供・相談支援を行うNPO法人等</li> <li>・住まいの確保に関する業務を行う宅地建物取引業者等</li> <li>・仕事のマッチングや就業支援を行う商工会・農業協同組合</li> <li>・まちづくり、地域活性化、居住支援に取り組む法人 (例) (一社) Work Design Lab (居住支援・滞在支援) おてつたび (関係人口+就業支援) 等</li> </ul>

### ■ 二地域居住推進体制構築に向けた施策(案)と支援における助言内容

体制構築に向けた施策(案)	実施時期	実施目的	助言ポイント
参画機関等との個別打ち合わせ	随時	すまい/なりわい/つながりづくりに取り組む参画機関の活動推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二地域居住推進戦略との連動性</li> <li>・参画機関の活動についての企画</li> </ul>
二地域居住推進活動報告会(仮称)の実施	3月頃	二地域居住推進活動の共有、次年度の取り組みの方向性の共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告会のゴール設定・コンテンツ内容</li> <li>・活動報告会の進行方法 など</li> </ul>

## (2) 二地域居住推進体制構築支援 / (3) 二地域居住推進活動推進支援

本業務における二地域居住推進活動支援では、特に優先度が高いと考えられる事業内容をマーカーで記しておりまして、以下の内容に合わせて実施を進めてまいりました。

### ■北栄町特定居住促進計画における事業内容と本業務での助言事項

区分	事業内容	R7年度での助言内容(案)
1. すまいづくり	・由良駅前への宿泊施設	宿泊施設事業者の誘致に向けた戦略・アイデア
	・民泊施設の創業・立地支援	民泊事業者の創業支援・企業誘致に関する戦略・アイデア
	・飲食店等の創業・立地支援	飲食店事業者の創業支援・企業誘致に関する戦略・アイデア
	・鳥取中央育英高校学生寮整備	寮の運営に関する戦略・アイデア
2. なりわいづくり	・北栄町版“地域の人事部”	地域の人事部の戦略策定、体制構築、活動推進
	・事業所等の創業・立地支援	創業支援・企業誘致に関する戦略
	・コワーキングスペースの整備	コワーキングスペースのコンセプトや活用イメージ
3. つながりづくり	・青山剛昌ふるさと館整備	来場者の関係人口化に向けた施策
	・中央公民館大栄分館整備	公民館のコンセプトや活用イメージ
	・相談窓口の設置	相談窓口の機能と各支援法人との連携
	・継続的な交流の機会づくり	交流機会の企画・運営
	・コミュニティマネージャーの設置	コミュニティマネージャー候補となる人材の発掘・育成
	・若者が活躍する地域づくり	高校の魅力化戦略

## (2) 二地域居住推進体制構築支援 / (3) 二地域居住推進活動推進支援

### 創業・企業誘致支援に関する戦略検討支援

由良駅前への宿泊施設、民泊施設、飲食店等の創業・立地支援を実施に向けた戦略検討支援を実施した。創業支援・企業誘致においては北栄町様としてのターゲットを明確にした上で、戦略的な支援・誘致活動を行う必要があると考えており、本取り組みの実施や内容等進め方に関しては北栄町様と協議を実施しました。

#### ■ 創業・企業誘致支援に関する戦略検討支援に向けた整理

地域人材と関係人口・二地域居住者に分け創業・企業誘致を整理しております。北栄町様が検討される創業支援・企業誘致戦略において適宜助言を実施しました。

	地域人材	関係人口・二地域居住者
ターゲット	地元の創業志望者・退職後の起業を考えるシニア・地元企業の新規事業を検討している経営者	北栄町に関係人口や二地域居住者として繋がり、地域で新しいチャレンジや起業をしたい個人及び企業等
誘致における施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスアイデア創出に向けた支援</li> <li>・ネットワーキングイベント</li> <li>・資金調達のサポート等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業・企業誘致における地域のキープレイヤーの繋ぎこみ</li> <li>・複業やリモートワーク等の環境整備</li> <li>・衣食住環境の整備等</li> </ul>
必要な施設・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コワーキングスペース</li> <li>・地域資源を活用した創業支援（施設、支援メニュー）等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二地域居住者向け滞在施設（住居）</li> <li>・コワーキングスペース/サテライトオフィス</li> <li>・地域事業者や団体とのプロジェクトマッチング機能（企業連携、複業、おてつたび）等</li> </ul>

#### ■ 創業・企業誘致支援における戦略検討支援が可能な取り組みの整理

	テーマ（案）	本業務で取り組みが可能な内容（案）
地域人材	ローカルベンチャー支援	・地域資源を活用した創業を目指すローカルベンチャー講座の企画運営支援等
地域人材	複業起業	・複業起業に向けた戦略体制構築支援における助言等
	企業誘致	・地域の強み（観光地・農産物・地域特産品等）を活かした企業誘致活動戦略策定における助言等

## (3) 二地域居住推進活動推進支援

### ■ 創業・企業誘致支援における現状と課題の整理

現状 (As Is)	未来 (To Be)	施策
<b>観光業の課題</b>	<b>宿泊施設の充実による観光リピーターの獲得</b>	観光施設と宿泊施設のインフラ整備
コナンや道の駅等に観光客が来るが、宿泊施設が不足	宿泊施設の充実化により、観光業の持続的な発展、観光消費額の増大	宿泊施設等の滞在環境を一体的に整備・強化
<b>起業家支援体制</b>	<b>起業家支援体制の確立</b>	ローカルベンチャー講座の実施
起業家や創業希望者への支援体制が整っていない	地元の起業家支援を強化し、創業支援を充実	起業家向けのネットワーク構築 (ヒト・モノ・カネ・情報)
<b>地域おこし協力隊後の出口支援</b>	<b>地域おこし協力隊後の起業支援強化</b>	地域おこし協力隊後の創業起業のサポート強化
地域おこし協力隊卒業後の起業家支援ができていない	地域内定着と起業家としての成功を支えるための支援体制を構築	協力隊後の起業家支援枠組みの強化
<b>空き家活用</b>	<b>空き家活用を通じた滞在施設の整備 新たな宿泊事業者の創出</b>	空き家活用PLツアー等の実施
空き家の活用が進んでいない	地域資源（空き家）を活用したビジネスプラン・事業計画を提案し、プレイヤーの創出を通じた地域経済の活性化を進める	空き家活用における情報提供と事業化に向けた伴走支援体制の構築

## (3) 二地域居住推進活動推進支援

### ■ 北栄町における想定される起業・創業の想定イメージ

事業モデル	実施内容案	北栄町での事例
宿泊事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストハウス</li> <li>・コリビング</li> <li>・一棟貸し</li> <li>・ホテル 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民泊 MOKUBA</li> <li>・民泊「萬屋」 等</li> </ul>
飲食事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ</li> <li>・レストラン</li> <li>・Bar 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レストハウス・ポアロ</li> <li>・café no---ka</li> <li>・ホームベース焙煎所 等</li> </ul>
DX事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業及び自治体のDX支援</li> </ul>	—
BPO事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域事業者のBPO支援（ローカルテレワーク）</li> <li>・自治体のBPO支援 等</li> </ul>	—
その他事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次産業支援</li> <li>・マーケティング/ブランディング支援</li> <li>・採用支援</li> <li>・教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村岡オーガニック</li> <li>・コナンクリエイション</li> <li>・Ei!Hokuei 等</li> </ul>

### ■ 起業・創業支援における既存の体制の整理

テーマ	機能（主な役割・タスク）	支援機関
HR	人材要件定義／募集設計・広報／マッチング・選考（副業・地域活性化起業人）／受入体制整備・オンボーディング／契約・就業ルール整備／稼働・評価・リテンション	地域の人事部、おてつたび、パソナJOB HUB 等
DX	業務可視化（As-Is/To-Be）／ツール選定（予約・決済・EC・CRM・SNS）／実装・データ連携（POS・在庫・会計）／ダッシュボード整備／内製化トレーニング	Work Design Lab、EI！HOKUEI 等
マーケティング	リサーチ（顧客・市場・競合）／ブランド・トンマナ設計／集客プラン（SEO・SNS・広告・PR）／コンテンツ制作（写真・動画・記事）／KPI設計・運用改善	Work Design Lab、EI！HOKUEI 等
ファイナンス	資金計画・資金繰り表作成／補助金・助成金活用支援／融資相談・調達支援／会計・管理体制整備／与信・保険・リスク管理／月次モニタリング	北栄町商工会、鳥取銀行 等

## (3) 二地域居住推進活動推進支援

### ■ 起業・創業普及啓発セミナーの実施

地域住民や地域事業者に向けて、地域資源を活かしたビジネスアイデアを創出し、地域経済を活性化させることを目的とした起業・創業普及啓発セミナーを実施しました。

項目	内容
日時※候補日	10月22日(水)15:00～17:00
会場	北栄町商工会議所 会議室/オンラインのハイブリッド開催
開催体制	主催：北栄町、パソナJOB HUB、共催：Work Design Lab、(北栄町商工会)
目的(案)	地域資源を活用したビジネスを地域住民や地域内企業に向けて支援するための講座であり、地域特有の資源(農産物、観光地、伝統文化など)を活かした起業を行っている宿泊と食に絞ったローカルベンチャーをゲストスピーカーとして呼びし、観光・農業に加えて、空き家や遊休施設活用の実例を学ぶ。
参加者(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民、地域内の創業希望者。宿泊事業等を実施したい事業者及び農泊等で検討。特に地域資源を活用する起業家や中小企業で新規事業を検討している経営者等</li> <li>・支援機関：鳥取県中部総合事務所、鳥取銀行、商工会連合会、Work Design Lab、EIHOKUEI</li> <li>・ローカルベンチャー実践者：村岡オーガニック、カフェ農家、コナンクリエーション、学生(長宗我部先生、渡辺先生経由)、地域おこし協力隊、近隣地域</li> </ul>

### ■ 起業・創業普及啓発セミナーのタイムスケジュール

時間	プログラム項目	概要	登壇者・講師
15:00～15:10	北栄町における創業・起業がもたらす地域への効果や効用について	北栄町の二地域居住促進における創業起業がどのように地域へのインパクトがあるのか、その上でどのような可能性があるかを紹介します。	北栄町 副町長 岡本 圭司 氏
15:10～15:40	事例共有 ～地域資源を活用したローカルベンチャーの取組について～	地域における宿泊施設や民泊運営における取組事例について話をしてもらいおけるに向けたポイントについて学びます。※マーケティング、DX、HR、ファイナンス等の取り組みを支援	株式会社トリップシード 代表取締役 小柳 秀吉 氏
15:40～16:25	トークセッション 北栄町における地域資源を活用した創業・起業を行う意義や価値とは？	北栄町の地域資源を活用した創業・起業の意義やその価値について深掘りし、地域経済の発展にどのように貢献できるかを考えます。<トークセッションの流れ> ・自己紹介：加藤さん→伊藤さん(5分×2) ・トークセッション①北栄町での地域資源や強みをどうビジネスに生かすか ・トークセッション②北栄町でローカルベンチャーや起業家・事業者が増えるために必要なことは？ ・トークセッション③起業・事業においてまずは具体的に何からスタートするか？ →③の内容を厚めに話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北栄町 副町長 岡本 圭司 氏</li> <li>・株式会社トリップシード 代表取締役 小柳 秀吉 氏</li> <li>・一社 Work Design Lab 理事 伊藤 俊徳 氏</li> <li>進行) パソナJOB HUB執行役員兼 ソーシャルイノベーション部長 兼成長戦略室長 加藤 遼</li> </ul>
16:25～16:45	感想シェアタイム	参加者同士で感想のシェア、今後自身でやりたいこと取り組みのアイデアの共有などを実施します。	参加者
16:55～17:00	クロージング	今後の流れ等についてお話しします。※商工会や役場の施策支援制度(創業支援)	北栄町役場清水さん、商工会小椋さん パソナJOB HUB

# (3) 二地域居住推進活動推進支援

## ■ 起業・創業普及啓発セミナーの当日の様子

### 北栄町起業・創業セミナー

地域資源を活かして新しいビジネスをはじめませんか？

北栄町では、地域資源を活用した起業・創業の推進や二地域居住の促進をテーマに、実例共有や意見交換を通じて地域でのビジネス創出の可能性を考えるセミナーを開催します。当日は、徳島県で宿泊・観光事業を手がける 株式会社トリップシード代表小柳氏をお招きし、宿泊施設や民泊運営を中心とした事例を交えながら、地域資源を活かしたビジネスの魅力と、地域経済の発展につながる起業活動の可能性についてお話いただきます。地域での新しいチャレンジを考えている方にとって、実践的なヒントと刺激を得られる貴重な機会です！ぜひ奮ってご参加ください。

**日時** 2025年 **10月22日(水)**  
15:00-17:00

**会場** 北栄町商工会 2階会議室  
または  
オンライン参加 (ZOOM)

こんな方にオススメです！

- 創業や起業に興味がある方
- 新規事業を検討している企業の経営者
- 起業・創業支援を行う企業・金融機関・経営支援機関等
- これから創業・起業を考えている個人

**内容**

- <当日のスケジュール>
- ・あいさつ 北栄町 岡本副町長
- ・講演 (株)トリップシード代表取締役 小柳 秀吉氏
- ・トークセッション (株)トリップシード代表取締役 小柳 秀吉氏 (一社) Work Design Lab 伊藤 俊徳氏 (株) パソナJOB HUB 加藤 遼氏 北栄町 岡本副町長
- ・ワークショップ

**お問合せ** 北栄町役場 観光交流課交流推進室 (担当: 川部)  
TEL: 0858-37-3158  
MAIL: kouryu@e-hokuei.net

定員 30名

参加費 無料

要申込 申込期限: 10月21日 17:00

お申込み方法  
以下のいずれかの方法でお願いたします。  
① 申込フォーム ② 電話 ③ メール

<フォーム> <https://forms.office.com/r/RqfPKGtdtr>



弊社加藤による北栄町における  
起業・創業のインパクトについて



ゲスト講師のトリップシード小柳氏による  
徳島県での起業創業事例の共有



参加者同士での意見交換



北栄町・北栄町商工会より支援策と  
熱いメッセージを

### セミナーの募集チラシ

## まとめ※再掲

### ■今後の展望

#### 誘致型施策

- ・二地域居住者：**36人**
- ・年間合計滞在日数：**485人**
- 現在常に**1.3～1.5人**程度いるイメージ  
内訳) 地域活性化起業人、複業人材  
おてつたび、Ei!HOKUEI、官民連携PJ等

質の高い二地域居住者や関係人口を計画的に増やすことができる

#### 自然流入型施策

- 二地域居住の  
**ポテンシャル数：844人**
- コナン等で北栄町に関心を持ち、観光や交流拠点を訪れている人々への関心度合いと裾野拡大の可能性を感じられた

すでに町に好意的な人が対象のため、関係深化に繋がりやすい

北栄町の取組は、町側から仕掛ける誘致型施策（PUSH）によって着実な成果を上げてきたが、今後は、既存施策による二地域居住者・関係人口の増加に加え、ふるさと館をはじめとする観光・交流拠点への自然流入層も視野に入れた自然流入型施策（PULL型）の体制と仕組みを構築していくことで、裾野を広げた関係人口の創出が期待できる。

## まとめ（弊社算出）

### ■今後の検討

北栄町に常時10名の二地域居住者や関係人口が滞在している状態を作るとした場合

※平均年間滞在日数を20日／人／年で想定。

区分	現状	次年度以降	目指す姿
常時滞在人数	約1.3名	5名	10名
年間滞在日数	485人日	約2,000人日	約4,000人日
必要登録人口	36名相当	約100名	約200名
必要ベッド数	2床	約7～8床	約15床
必要宿泊拠点数	2拠点	2～3拠点	4～5拠点
人の流れの特徴	誘致施策中心	誘致施策は継続しつつ、自然流入型施策の実施	自然流入も含めた持続的な二地域居住者や関係人口が滞在
施策の優先事項	誘致継続	登録人口100人の構築 + 宿事業者の発掘・整備検討	登録人口200名構築

登録人口200名を集めることができれば、宿泊拠点4～5拠点で理論上「常時10名滞在」が実現可能である。  
まずは登録人口100名（宿2～3拠点）を次年度以降の取組として段階的に実施。

# 令和8年度の実施内容（案）

## ■実施内容（案）

### ① ワカモノへの起業やチャレンジ支援体制の整備

挑戦者と応援者（メンター）を繋ぎ、3年後の定着を見据えた起業家潜在層を発掘し、応援体制を構築する。  
(ワカモノ起業塾やメンタリング支援 等)

### ② 関係人口向け活動相談窓口機能の構築

「Ei!HOKUEI」と連携した受入体制機能の拡張。観光客から「当事者（活動人口）」への昇華を促す相談窓口を設置する。

### ①、②に係る活動支援の実施

年度後半において、起業支援と関係人口の窓口を統合的に実装し、地域活動の定着を図る。

## 目指す姿

「北栄町なら挑戦環境があり、応援してもらえる」という機運の醸成と、地域内外の挑戦者と応援者のマッチング及び体制構築を図り、更なる北栄町内における活動人口の増加を目指す。

(5) スケジュール

区分	事業内容	令和7	令和7 進捗	令和8	令和9	令和10	令和11
1. すまいづくり	・由良駅前への宿泊施設誘致	誘致活動、整備支援	実施中				
	・民泊施設の創業・立地支援	誘致活動、創業・立地支援	実施中 (1事業者2施設創業)				
	・飲食店等の創業・立地支援	誘致活動、立地支援	実施中				
	・鳥取中央育英高校学生寮整備	施設整備 体制整備	整備済	運営			
2. なりわいづくり	・北栄町版“地域の人事部”	体制整備、運営	実施中	運営			
	・事業所等の立地・創業支援	誘致活動、創業・立地支援	実施中				
	・コワーキングスペースの整備	設計、施設整備 活用方法検討、体制整備	整備済、運営中		運営		
3. つながりづくり	・青山剛昌ふるさと館整備	施設整備	実施中	運営			
	・中央公民館大栄分館整備	設計、施設整備 活用方法検討、体制整備	整備中	運営 二地域居住者によるイベント開催支援			
	・相談窓口の設置	特定居住支援法人指定、運営	実施中	運営			
	・継続的な交流の機会づくり	検討、体制整備	実施中	コミュニティ運営 交流イベント等の開催			
	・コミュニティマネージャーの設置	設計、施設整備 活用方法検討、体制整備	整備中	運営 住民・二地域居住者相互の橋渡し 実施			
	・若者が活躍する地域づくり	鳥取中央育英高校魅力化事業の実施 地域団体との連携促進	実施中				